一般質問

市政を問う！

定例会では、市政全般について議員から一般質問が行われます。今回は21人の議員が質問に立ち、31項目について市長らの対応を質しました。掲載内容は、その要約です。※発言順に掲載

詳しくは、会議録／会議録検索システムで

▶会議録は、11月下旬から、図書館、市政図書室で閲覧出来ます。

▶会議録検索システムは、11月下旬から、市議会のホームページから利用出来ます。

インターネットで本会議の様子を録画配信中！

「日野市議会　議会中継」で検索してください。

※スマートフォンやタブレット型端末などには、現在配信していません。

公共施設に設置してある情報端末（パソコン）もご利用ください。

▶設置場所…市役所本庁舎１階市民相談室／七生支所／図書館／市政図書室／中央公民館／市立病院

1 大塚智和（公明党）

いま一度、日野市の災害対策を問う

問　災害発生の５日前から逆算した時系列の対応を把握出来る計画表「タイムライン」の活用は。

答　災害時の市の事業継続計画や、避難行動支援に盛り込む必要があると考えます。

問　防災訓練の向上、各ライフライン事業者との実践的訓練実施を要望したが、近況を問う。

答　水防訓練で近隣自治会の避難誘導訓練を初めて実施しました。総合防災訓練では、各ライフライン事業者との通信訓練、スタンドパイプユニットによる消火・給水訓練などを予定しています。

問　広島の土砂災害に学ぶ防災教育について問う。

答　地名や風習に過去の災害から得られた先人の教えを含んだものがあり、教訓の伝承に努めます。

2 峯岸弘行（公明党）

選ばれる自治体へ～日野市のシティセールス・シティプロモーションについて

問　行政課題を共同で研究するために大学と連携する予定はあるのか。

答　現在も大学の豊富な知識や発想などが、市政に生かされています。今後も市の活性化のために、積極的に連携や協力の強化を図っていきます。

命を守る路面下空洞調査と対策について再び問う

問　マイクロ波による路面下空洞調査の検証作業の実施について問う。

答　道路陥没を未然に防ぐことが出来ることから、必要性は理解していますが、舗装補修計画が昨年度からスタートしましたので、他市の状況を注視で幅広く活動しています。

3 西野正人（自由民主党）

土砂災害防止対策について

問　気象情報をいち早く把握して警戒体制をとることが重要だが、確立しているか問う。

答　多方面からの情報分析により、24時間監視体制、各種対策本部設置に移行して対処します。

問　避難勧告・指示発令の判断基準について問う。

答　市独自の判断基準案を今年度作成しました。全国の災害状況を鑑み、適宜修正していきます。

産業振興対策について

問　事業者向け融資あっせん制度の拡充は高く評価出来る。申し込み状況や新たな課題を問う。

答　申し込み数が昨年度より3倍増となり、業務に時間を要しています。短期化に向けてシステム強化などを検討します。

4 近澤美樹（日本共産党）

「ごみは減らない、費用2倍」のごみ処理施設基本設計書で周辺住民・市民の理解を得るのはあまりに困難―今からでもリセットし、協働・参画の建て替えを

問　建設費が2倍になったことを市民に知らせないのか。

答　今回の金額は、あくまでメーカーヒアリングをした概算です。金額がひとり歩きしていくのが一番怖いことだと思っています。

問　周辺住民との懇談会について問う。

答　地元の方々からは、ある程度の理解が示されていると考えています。

問　生ごみの資源化は、なぜやらなくなったのか。

答　総合的に検討した結果です。給食残渣対象の民間施設でのバイオガス化は、拡大する予定です。

5 鈴木勝豊（民主市民クラブ）

人とまちの諸力融合について問う

問　市政の展望に「諸力融合」を掲げ、未来を見据えた3戦略を立てているが、現実の課題解決にも適用するのではないか。

答　現在の積み重ねが未来への備えであり、今の施策にも適用させて、課題に取り組んでいます。

災害に強いまちづくりに向けて～土砂災害に対する備え～

問　地域住民が異変に気付き、自ら行動に移すための周知・意識向上策は。

答　危険箇所を防災マップに記載し、地域の訓練に職員を派遣するなど、防災力向上に努めます。

問　広島の災害で市の情報管理ミスが指摘された。公助の検証について問う。

答　土砂災害の危険性を抱える自治体と認識しており、体制を整えます。

6 中嶋良樹（民主市民クラブ）

組織・人事戦略について～３つの戦略の実現に向けて～

問　最適な組織体制は。

答　事業の連携を強化しつつ、適切に職員を配置し、必要に応じて柔軟かつスピード感を持って見直せる体制が最適と考えています。

問　３つの戦略との整合性をとるため、２０２０プランを中間検証で見直して基本・実施計画に反映させるべきと思うが。

答　必要な方向性を中間検証で庁内に示し、事務事業カルテの作成や主要事業の組み立てに反映させ、主要戦略の実現を一層意識したものにします。

問　市民からわかりやすく実効性が高くなるよう、基本計画の期間を市長の任期と一致させる考えは。

答　計画期間だけにとらわれず、重点的・短期的な課題解決に対応します。

7 谷和彦（自由民主党）

土砂災害―日野市の対策について

問　土砂災害警戒区域に指定されそうな所は、市の警戒が必要だが見解は。

答　都の実地調査が進められているので、情報収集に努めます。

世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の誕生に関連し、絹関連産業遺産である旧蚕糸試験場日野桑園第一蚕室の復元を！

問　第一蚕室が国の有形文化財に登録されると、どのような利点があるか。

答　保存などのための国の補助があるほか、財団の補助金申請も出来ます。

問　養蚕が盛んであった史実を後世に伝えるため、復元の可能性を問う。

答　国の支援事業を活用しながら、保存・活用の努力をしていきます。

8 奥住匡人（自由民主党）

未来を拓く市政運営に戦略的施策の実現を

問　人口減少社会、自治体間競争に向け、市の魅力を向上させるシティーセールスにおける、市の考えについて問う。

答　将来、財政的な支えとなる若い世代を中心に情報発信し、人口バランスを意識した定住化策を図っていきたいと考えています。

問　情報発信についての考え方を問う。

答　時代に即した情報発信のあり方を整理し、全職員が市の価値を高める効果的な情報発信が出来るように努めていきます。

問　今後の情報発信強化に向けた外部人材の登用について問う。

答　専門的な技術を要する部分は、登用を視野に入れて対応すべきと考えています。

9 田原茂（公明党）

まちづくりと一体となった地域包括ケアシステムを！

問　サービス付き高齢者住宅の整備状況と家賃補助について問う。

答　市内に５施設あり、家賃補助の対象となっています。新規の設置は、市の財政負担や地域のメリットを考慮し、整備する必要があると考えます。

問　救急医療情報キットの導入について問う。

答　緊急時の連絡先等を記入する「あんしん電話帳」を導入していますが、今後は医療や服薬情報欄を追加するなど、機能を充実し、改善を図ります。

問　認知症の人や家族を地域で支え合う認知症カフェの設置について問う。

答　心理的なケアや社会活動の維持等の効果が期待出来るため、他市の状況や実験的な開設の実績を分析し、検討します。

10 清水登志子（日本共産党）

要支援外し、負担増ねらう介護保険制度改正で、サービスを後退させてはならない

問　第６期の保険料を決定する際に、現状維持や引き下げなど、あらゆる手段を講じるべきでは。

答　算定に必要な数値が国から示された段階で検討します。

大規模工場の移転・閉鎖を見据えて、今、何をすべきか～東芝跡地の巨大物流施設の教訓を生かして

問　周辺住民に配慮し、それぞれの地域にふさわしい開発計画が必要ではないか。

答　住環境との調和を図る考え方は否定しませんが、工業地域において、一律の規制を設けることは慎重に対応しなければならないと考えます。

11 古賀壮志（自由民主党）

在宅医療について

問　今後の要支援、要介護者の増加見込みを問う。

答　平成37年は、要支援認定者の人数は1万2千79人となる見込みで、今年6月現在の約1・6倍になります。

問　第６期介護保険事業計画への取り組み内容について問う。

答　介護と医療の連携推進、認知症施策の推進、生活支援の推進、地域包括ケア会議の推進、地域包括支援センターの機能強化を重点事業として位置付け、前向きに検討します。

問　介護保険法改正後の概要と活用可能性の見込みについて問う。

答　介護予防訪問介護及び介護予防通所介護が、総合事業に移行し、多様なサービスの提供を安価に受けることが出来るようになります。

12 奥野倫子（日本共産党）

個人情報保護審査会の答申を尊重し、日野市の情報公開のあり方を改善せよ

問　今後の改善点を問う。

答　運用基準が厳格過ぎるとの指摘を踏まえ、都のガイドラインを基本に、個々の事例に沿って制度を運用し、対応します。

問　個人情報保護条例を改正し、遺族の個人情報請求権を保障すべきでは。

答　一定範囲の親族に死者情報を開示する条例改正は、個人情報保護法の趣旨を越える取り扱いになりかねず、慎重な検討が必要です。条例改正ではなく、運用の中で適宜開示すべきと考えます。

問　内規では行政にとって都合の悪い情報が隠される危険もあるのでは。

答　情報公開・個人情報保護審査会が監視機能としてあり、勝手な運用は出来ないと認識します。

13 池田利恵（自由民主党）

広島大規模土砂災害に学ぶ丘陵地対策

問　豪雨では、屋外の防災無線放送がかき消されてしまう。補完機能は。

答　電話の自動応答装置、ケーブルテレビ、市ホームページで発信します。

問　地元自治会との情報連絡体制を見直しては。

答　自治会情報を市内部で共有し、必要な情報提供のあり方を検討します。

平山地区の今後に関して

問　京王ストア平山店の閉店に伴う、買い物弱者への対応策を問う。

答　移動販売の実施を京王電鉄と協議します。また、豊田商店会による配達範囲になりました。

問　平山城址公園駅前の活性化策について問う。

答　駅前広場再整備と周辺市道の改良に向け、地権者との協議を進めます。

14 江口和雄（民主市民クラブ）

高齢化社会の対応について問う。民生児童委員、各種名簿の整理、健康づくりについて

問　行政課題を共同で研究するために大学と連携する予定はあるのか。

答　現在も大学の豊富な知識や発想などが、市政に生かされています。今後も市の活性化のために、積極的に連携や協力の強化を図っていきます。

命を守る路面下空洞調査と対策について再び問う

問　マイクロ波による路面下空洞調査の検証作業の実施について問う。

答　道路陥没を未然に防ぐことが出来ることから、必要性は理解していますが、舗装補修計画が昨年度からスタートしましたので、他市の状況を注視で幅広く活動しています。

問　要支援者の名簿の取り扱いについて問う。

答　避難行動要支援者名簿の作成が義務化され、同意を得た上で、関係機関に提供されています。

問　市の健康イベントなどに参加する動機付けの方法について問う。

答　地域ポイント制度が、商業の活性化とともに市の健康づくり事業への参加意欲が高まるような制度となるように、商工会と検討をしています。

15 馬場賢司（公明党）

多摩川、浅川の水辺環境を生かしたまちづくりや防災対策について

問　「水辺の楽校」の現状と今後の方針を問う。

答　潤徳小と滝合小で展開されています。３校目を多摩川沿いで実施出来るよう努力します。

問　市内に架かる橋の耐震整備状況を問う。

答　ふれあい橋・滝合橋は計画中で、その他は耐震化済み及び施工中です。

若者の力やアイデアでまちを元気にしていく取り組み等について

問　福井県鯖江市役所の「Ｊ Ｋ課」のような地域おこしの柔軟な発想について、市の見解を問う。

答　大学との連携事業を展開していますが、高校生も含めた若い世代との連携構築を研究します。

16 大高哲史（日本共産党）

これからの公共施設のあり方についての市の考えを問う

問　市有建築物修繕計画策定について問う。

答　適切な維持保全のために劣化診断を行い、中長期の修繕計画を策定するものです。平成26年度は市民会館など5施設の計画を策定します。

問　ヘルスケア・ウェルネス戦略と公共施設の今後のあり方について問う。

答　公共施設が健康活動拠点の重要な役割を持つと認識しますが、施設の有無に関わらず、日常生活の中でより多くの方が継続出来るよう、全庁的に進めます。

問　施設の集約化・複合化では、将来的に活力ある市にはならないのでは。

答　ニーズや合理性などを総合的に勘案し、適正な配置を市民と十分に検討したいと考えます。

17 窪田知子（公明党）

女性の活躍を推進する施策について問う

問　市職員の女性管理職の現状並びに課題について問う。

答　管理職に占める女性の割合は約10％で、女性職員の管理職昇任試験の受験率の低さが課題です。

問　女性職員登用促進のための今後の取り組みについて問う。

答　部署を越えた女性職員同士のコミュニケーションの場づくりと、本音で意見交換出来る機会を設けることが必要であると考えます。

問　若い女性職員に自らのキャリアプランを考える研修を行ってほしいが、市の考え方について問う。

答　自らのキャリアを明確にして、人間性を高めることは必要と考えていますので、その視点での研修を検討したいと思います。

18 有賀精一（無会派）

ずさんな「ごみ処理施設基本設計書」を問う～ごみ減量を本気でやる気があるか、行政としての説明責任を果たしているか

問　ごみ減量と建て替えへの理解を得るための努力は、同時並行的に今後も行っていきます。

安倍政権の戦争国家づくりに日野市はどう対応するのか～自治体から市民の生命・生活・人権を守るために

問　集団的自衛権の閣議決定による市の対応は。

答　国の動向を注視し、情報収集に努めます。

原発再稼働問題から問われる行政の責任

問　市の考えを問う。

答　国の根幹的な施策として、広範な角度から整理されるものと考えます。

19 吉岡奈津恵（無会派）

薬物乱用のない地域づくりのために！

問　薬物問題に取り組む機関との関係づくりについて問う。

答　関係機関との連携の強化を図るとともに、地域のネットワークづくりについても調査研究します。

安心して働ける子育て環境の整備を！

問　ひのっちの夏休み利用について問う。

答　保護者のニーズや事業を支えるボランティアスタッフの意見などを踏まえ、実施に向けて検討します。

問　公園などの遊び場の整備について問う。

答　安全で安心して利用出来る公園管理を目指すとともに、公園の適正配置や地域のニーズと施策に合った特色のある公園づくりを進めます。

20 鈴木洋子（自由民主党）

安心して産んで暮らせる…そんなまちづくりのために！

問　公立幼稚園の今後の展開について問う。

答　生きる力の基礎を培う幼児教育、幼保小連携教育、特別支援教育といった幼児教育の重要課題に今後もしっかりと取り組んでいきます。また、第三幼稚園と第四幼稚園を統合し、第三幼稚園跡地に待機児解消のための保育施設を建設する予定です。

問　今年４月に開所した発達・教育支援センター「エール」の今後の課題について問う。

答　利用者が増え続け、臨床心理士が行う相談などの予約待ちが発生しています。今後、利用者の状況を見ながら、専門職などの人員配置を検討し、相談に迅速に対応出来るように進めていきます。

21 中野昭人（日本共産党）

子どもたちにとってよりよい保育・育成環境を整える条例とするために！～子ども・子育て新制度に関する条例案について問う～

問　保育園における待機児解消策の内訳は。

答　認証保育所１カ所の新設・既存の定員拡大と、小規模保育事業所２カ所の新設を検討しています。

問　保育の質や水準はどのように守られるのか。

答　国が示す従うべき基準、考慮すべき基準を条例規則に盛り込み、小規模保育では、全員が資格を有するA型を誘導するのが基本の考えです。

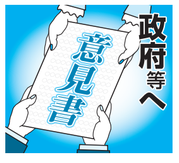
問　学童クラブの面積と集団規模基準の緩和について、期限を設定しては。

答　希望者は出来る限り受け入れながら、育成環境の改善に努めます。

皆さんからの「請願」

今定例会では、２件の請願が新たに提出され、所管の常任委員会で審査が行われ、定例会最終日の本会議において次のとおり議決しました。

付託委員会	請願の件名／議決結果
民生文教委員会	手話言語法制定を求める意見書の提出に関する請願 採択　議員提出議案として上程し、可決されたので、意見書を提出しました（別掲記事参照）。
環境まちづくり委員会	「協同労働の協同組合法（仮称）」の速やかな制定を求める意見書提出に関する請願 採択　議員提出議案として上程し、可決されたので、意見書を提出しました（別掲記事参照）。



請願・陳情

皆さんの声を市政に

請願・陳情は、皆さんの声を市政に反映させる有効な手段です。次の点に留意して、議会事務局にご提出ください。

【請願】

請願提出者の希望により、委員会の中で請願の主旨説明が出来ます（代理人可）。なお、請願には紹介議員（請願の主旨を十分に理解し、市議会に提出することに賛同した市議会議員）１人以上の署名が必要です。

【陳情】

陳情内容を速やかに全議員と市長に配布します。議会閉会中でも陳情主旨を伝えられますが、委員会や本会議での審査・採決は行いません。

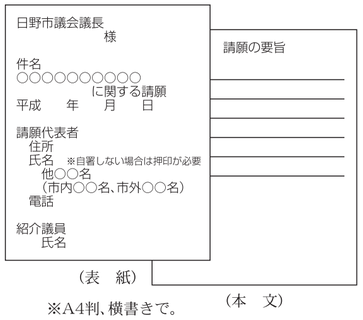
【請願の提出方法】

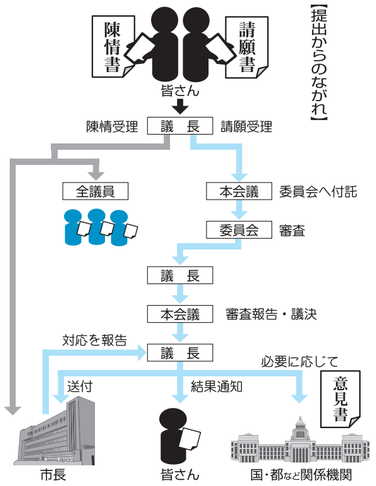
請願の提出締め切りは、各定例会初日の正午です。

これを過ぎた場合は、次回の定例会の審議になります。

請願・陳情の書式は左図のとおりです。内容は簡潔に記載してください。

また、郵送では受付けませんのでご注意ください。



※A4判、横書きで。

【提出からのながれ】